

大雪に備える

大雪による道路の通行止めや鉄道の運休などは日常生活に支障をきたし、外出を控えることになったり外出そのものが困難になったりする場合があります。いざというときのための備えを確認しておきましょう。また大雪により除雪作業などに伴う事故によるケガなども多く発生しています。特に最近では高齢者による作業中の事故が増えていますので、事故防止対策をして作業を行うようにしましょう。

外出できなくなったときにあらかじめ備えておくこと

大雪になると普段の外出が困難になることや、停電が発生した場合に使用している暖房器具や家庭内の家電製品が全て使えなくなることが考えられます。

このような事態に備え、電気の要らない暖房や食料・燃料などをあらかじめ用意しておくとともに、最新の気象情報や交通情報などを事前に確認し、不要不急の外出を控えましょう。

- 温かい食事をとることが大切です。カセットコンロが役立つので、ボンベも多めに用意しましょう。
- 停電時でも使用できる石油ストーブがあると安心です。
- 暖房、お風呂などに使用する灯油や車のガソリンなどの燃料は早めに給油しておきましょう。



大雪に関する情報

除雪中の事故を起こさないために

☆安全に除雪する3つの合言葉☆

「1人でしない・無理しない・落雪転落気をつけて」

❖ 「1人でしない」・・・ 1人での作業は発見が遅れ、重大事故につながりやすくなります。

- 作業は2人以上で行い、やむを得ず1人でする場合でも家族・隣人に声をかける
- 携帯電話など連絡できる端末を持って作業する

❖ 「無理しない」・・・ 疲労からケガや疾病が発症することもあります。

- こまめに休憩・水分補給をしながら作業する
- 体調の悪いとき、疲れたときは無理せず止める
- ぬれた衣服はすぐに着替える

❖ 「落雪転落気をつけて」・・・

高所からの転落が死亡事故の最多要因です。

- 命綱や安全帯を着用する
- 新雪や晴れの日は雪が緩みやすいので注意
- 低い屋根でも油断しない
- はしごはまっすぐに設置し、足元はしっかり固定



雪道で車が立ち往生したときに備えて

毎年、急な大雪による、車の立ち往生が原因の大規模車両滞留が発生しています。万が一、巻き込まれたときに備えて冬期は普段から車への備えを行いましょう。

- 燃料(ガソリン)はこまめに給油
- 防寒対策に毛布、クッションなど
- 携帯トイレ(1人1日5回を目安に)
- 3日程度の水、食料(菓子類などもおすすめ)
- スマートフォンなど充電用のモバイルバッテリー

国民保護について

わが国に対する外部からの武力攻撃やテロなどが万が一発生した場合、国や都道府県、市町村などが連携して対応することとしていますが、いつ、どこで、どのように発生するのかの予測は極めて困難で、現実問題として考えることは難しいかもしれません。しかしながら、このような事態への備えも日ごろから考えておく必要があり、一人ひとりの命や財産に直接関係するとても大事なことです。

弾道ミサイル攻撃を受けたとき

明暗を分けるのは避難行動

弾道ミサイルが着弾した場合、激しい爆風や破片などにより、身体へ大きな被害を受ける可能性があります。爆風や破片などから身を守るため、状況に応じた避難行動を取ることが大切です。

弾道ミサイル落下時の行動について

弾道ミサイルは発射からわずか10分もしないうちに到達する可能性があります。ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、国からの緊急情報を瞬時に伝える「アラート」を活用し、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急速報メールなどにより緊急情報をお知らせします。行政からの指示に従って落ち着いて行動してください。

- ① 屋外スピーカーなどから国民保護サイレンとメッセージが流れます。
- ② 携帯電話やスマートフォンに緊急速報メールなどが届きます。



「アラート」(例) 直ちに避難。直ちに避難。直ちに建物の中、または地下に避難してください。ミサイルが、●時●分頃、●●●県周辺に落下するものとみられます。直ちに避難してください。

<p>屋内にいる場合 【爆風で割れた窓ガラスなどを避ける】</p> <p>窓から離れる または 窓がない部屋へ</p>	<p>屋外にいる場合【爆風や破片などを避ける】</p> <p>近くの建物の中 (できれば頑丈な建物) または 地下へ</p> <p>もしも、近くに建物がない場合は 物陰に身を隠すまたは 地面に伏せ頭部を守る</p>
--	--

- ① 速やかな避難行動
- ② 正確かつ迅速な情報収集



国民保護ポータルサイト



首相官邸ホームページ